

NIAD-UE

# 機構ニュース

Vol.137      2014 October

## 記事

### Top News

○香港HKCAAVQとの合同ワークショップを実施 .....1

○川口元理事ほか3名に名誉教授の称号を授与 .....2

### 評価事業

機関別認証評価について

○平成27年度認証評価の申請状況について .....3

### 学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○平成27年度に実施する教育の実施状況等の審査 .....4

### 質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

○中国HEEC設立10周年記念行事に出席 .....7

○NIAD-UEシンポジウム 国際共同教育プログラムの質保証:日中韓の連携による教育の質モニタリングを通して見えてきたことは(11月27日開催)の参加申し込み受付中 .....8

大学等に関する情報の収集、整理及び提供

○平成26年度大学ポートレートに関する国公立大学の教育情報の実務担当者協議会 .....9

### 機構の窓

○会議の開催状況 .....10

### 主要行事日程

○Schedule(2014年10月~12月) .....11

## TOP NEWS

### ○香港 HKCAAVQ との合同ワークショップを実施

去る9月29日（月）に、香港学術及職業資歴評審局（HKCAAVQ）との合同ワークショップ（第2回）を香港・HKCAAVQ オフィスで実施しました。当機構と HKCAAVQ は連携協力にかかる覚書を締結しており、本合同ワークショップは、若手職員の交流を図り、互いの質保証業務を学び合う機会として実施したものです。第1回は、2013年2月1日に当機構竹橋オフィスで実施しています。

2回目となる今回のワークショップでは、双方機関の具体的な業務について発表・質疑応答を行うとともに、評価に係るよりよい研修の仕組みについて意見交換を行いました。

#### ＜双方機関からの発表＞

- ・HKCAAVQ の行う資格認証業務について：

香港以外の国・地域で得た学位・資格についての、香港の資格枠組みとの同等性の審査・認証業務（申請数等の統計データや手数料、審査方法等）について

- ・国境を越えた教育に対する HKCAAVQ の質保証について

香港以外の国・地域の高等教育機関が香港で教育を提供する際の、質保証制度や適格認定（手順や基準等）について

- ・日本の質保証制度と機構の評価事業について

- ・機構の認証評価実務と先導的取組について

また翌30日（火）には、HKCAAVQ と今後の連携方策にかかる懇談を実施し、今後も引き続き連携していくことを確認しました。

なお、HKCAAVQ の概要および第1回合同ワークショップについては、[こちら](#)をご覧ください。



合同ワークショップ（第2回）終了後の集合写真  
（於：HKCAAVQ オフィス）

## ○川口元理事ほか3名に名誉教授の称号を授与

大学評価・学位授与機構の名誉教授称号授与式が10月9日（木）に、当機構・竹橋オフィスで挙行され、川口昭彦・元理事、木村靖二・元評価研究部長、橋本弘信・元学位審査研究部長及び瀧田佳子・元学位審査研究部長に名誉教授の称号が授与されました。

川口元理事は、平成12年4月からの併任を経て平成13年4月に専任の評価研究部教授に就任後、平成14年10月から評価研究部長、さらに平成18年4月から平成22年3月まで機構理事を務められ、理事退任後も平成22年4月から特任教授、平成26年4月から顧問として機構の事業及び調査研究に寄与されてきました。

木村元評価研究部長は、平成13年10月からの併任を経て平成15年4月に専任の評価研究部教授に就任後、平成18年4月から平成20年3月まで評価研究部長を務められ、退職後も平成20年4月から客員教授、平成25年4月から特任教授、平成26年4月から参与として機構の評価事業及び調査研究に寄与されてきました。

橋本元学位審査研究部長は、平成17年4月に学位審査研究部教授に就任後、平成18年4月から平成20年3月まで学位審査研究部長を務められ、退職後も平成20年4月から客員教授、平成25年4月から特任教授、平成26年4月から参与として機構の学位授与事業及び調査研究に寄与されてきました。

瀧田元学位審査研究部長は、平成15年10月からの併任教授及び平成16年4月からの特任教授を経て平成17年10月から平成26年3月まで学位審査研究部教授を務められ、この間平成20年4月から平成22年3月まで学位審査研究部長に就任され、機構の学位授与事業及び調査研究に寄与されてきました。

当日は、野上機構長が称号を授与したのちに、長年の貢献に対する感謝とお祝いの言葉を述べました。引き続き、列席者とともに記念撮影が行われました。

【参考】当機構の名誉教授（ ）は授与年

黒羽亮一（平成9年）、平則夫（平成9年）、田中郁三（平成10年）、齋藤安俊（平成14年）、小野嘉夫（平成16年）、荒船次郎（平成21年）、木村孟（平成21年）、平野眞一（平成24年）、神谷武志（平成24年）、荻上紘一（平成25年）



列席者との集合写真

# 評価事業

## 機関別認証評価について

### ■申請状況について

#### ○平成27年度認証評価の申請状況について

平成27年度に実施する大学、高等専門学校機関別認証評価及び法科大学院認証評価について、下記のとおり申請を受け付けました。

|               | 認証評価 |
|---------------|------|
| 大学機関別認証評価     | 33 校 |
| 高等専門学校機関別認証評価 | 2 校  |
| 法科大学院認証評価     | 1 校  |

#### ○平成27年度大学機関別選択評価の申請状況について

平成27年度に実施する大学機関別選択評価について、下記のとおり申請を受け付けました。

大学機関別選択評価は、当機構が独自に行う第三者評価として、大学の希望に応じて大学機関別認証評価とは異なる側面から大学の諸活動等を評価します。

選択評価事項には、選択評価事項 A「研究活動の状況」、選択評価事項 B「地域貢献活動の状況」及び選択評価事項 C「教育の国際化の状況」を設けています。選択評価事項 A 及び選択評価事項 B では、水準判定を加味しつつ、各大学が有する目的の達成状況を中心に評価を実施します。選択評価事項 C では、目的の達成状況の評価に加え、各評価項目の水準について一般的な水準と比較した評価を実施します。

|    | 選択評価事項 A | 選択評価事項 B | 選択評価事項 C |
|----|----------|----------|----------|
| 大学 | 3 校      | 6 校      | 2 校      |

#### ○平成27年度選択的評価事項に係る評価の申請状況について

平成27年度に実施する選択的評価事項に係る評価について、下記のとおり申請を受け付けました。

選択的評価事項に係る評価は、高等専門学校評価基準とは別に、当機構独自の第三者評価として実施するものであり、高等専門学校の希望に応じて高等専門学校評価基準とは異なる側面から高等専門学校の活動等を評価します。

選択的評価事項には、教育活動と関連する側面のみからでは十分に把握することが難しい選択的評価事項 A「研究活動の状況」及び選択的評価事項 B「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」を設けており、その事項に関わる各高等専門学校が有する目的の達成状況等について評価を行います。

|        | 選択的評価事項 A | 選択的評価事項 B |
|--------|-----------|-----------|
| 高等専門学校 | 2 校       | 1 校       |

## 学位授与事業

### 短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

#### ■認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

機構が認定した短期大学・高等専門学校の専攻科については、認定又は再審査の結果の通知日の属する年度の次年度の4月1日から、原則として5年後に教育の実施状況等の審査を行い、その後は、原則として7年ごとに審査を行っています。

#### ○平成27年度に実施する教育の実施状況等の審査

平成27年度は、短期大学の認定専攻科のうち10校14専攻及び高等専門学校の認定専攻科のうち14校28専攻が審査対象となっています。

##### 1 短期大学専攻科【10校14専攻】

|    | 名 称           | 専 攻           | 修業<br>年限 | 設 置 者              |
|----|---------------|---------------|----------|--------------------|
| 1  | 倉敷市立短期大学      | 保育臨床専攻        | 2年       | 倉敷市                |
|    |               | 服飾美術専攻        | 2年       |                    |
| 2  | 大分県立芸術文化短期大学  | 音楽専攻          | 2年       | 公立大学法人大分県立芸術文化短期大学 |
| 3  | 聖徳大学短期大学部     | 服飾文化専攻        | 2年       | 学校法人東京聖徳学園         |
| 4  | 常葉大学短期大学部     | 音楽専攻          | 2年       | 学校法人常葉学園           |
|    |               | 保育専攻          | 2年       |                    |
| 5  | 愛知医療学院短期大学    | リハビリテーション科学専攻 | 1年       | 学校法人佑愛学園           |
| 6  | 名古屋柳城短期大学     | 保育専攻          | 2年       | 学校法人柳城学院           |
| 7  | 京都嵯峨芸術大学短期大学部 | デザイン専攻        | 2年       | 学校法人大覚寺学園          |
|    |               | 美術専攻          | 2年       |                    |
| 8  | 京都聖母女学院短期大学   | 児童教育専攻        | 2年       | 学校法人聖母女学院          |
| 9  | 鳥取短期大学        | 食物栄養専攻        | 1年       | 学校法人藤田学院           |
|    |               | 国際文化専攻        | 2年       |                    |
| 10 | 比治山大学短期大学部    | 美術専攻          | 1年       | 学校法人比治山学園          |

## 2 高等専門学校専攻科 【14 校 28 専攻】

|    | 名 称         | 専 攻                | 修業<br>年限 | 設 置 者            |
|----|-------------|--------------------|----------|------------------|
| 1  | 苫小牧工業高等専門学校 | 電子・生産システム工学<br>専攻  | 2年       | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |
|    |             | 環境システム工学専攻         | 2年       |                  |
| 2  | 仙台高等専門学校    | 生産システムデザイン工<br>学専攻 | 2年       | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |
|    |             | 情報電子システム工学専<br>攻   | 2年       |                  |
| 3  | 小山工業高等専門学校  | 複合工学専攻             | 2年       | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |
| 4  | 東京工業高等専門学校  | 機械情報システム工学専<br>攻   | 2年       | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |
|    |             | 電気電子工学専攻           | 2年       |                  |
|    |             | 物質工学専攻             | 2年       |                  |
| 5  | 富山高等専門学校    | エコデザイン工学専攻         | 2年       | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |
|    |             | 制御情報システム工学専<br>攻   | 2年       |                  |
|    |             | 国際ビジネス学専攻          | 2年       |                  |
| 6  | 長野工業高等専門学校  | 生産環境システム専攻         | 2年       | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |
|    |             | 電気情報システム専攻         | 2年       |                  |
| 7  | 鈴鹿工業高等専門学校  | 応用物質工学専攻           | 2年       | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |
| 8  | 奈良工業高等専門学校  | 機械制御工学専攻           | 2年       | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |
|    |             | 電子情報工学専攻           | 2年       |                  |
|    |             | 化学工学専攻             | 2年       |                  |
| 9  | 松江工業高等専門学校  | 生産・建設システム工学<br>専攻  | 2年       | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |
|    |             | 電子情報システム工学専<br>攻   | 2年       |                  |
| 10 | 津山工業高等専門学校  | 機械・制御システム工学<br>専攻  | 2年       | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |
|    |             | 電子・情報システム工学<br>専攻  | 2年       |                  |

|    | 名 称          | 専 攻           | 修業<br>年限 | 設 置 者            |
|----|--------------|---------------|----------|------------------|
| 11 | 宇部工業高等専門学校   | 生産システム工学専攻    | 2年       | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |
|    |              | 物質工学専攻        | 2年       |                  |
| 12 | 新居浜工業高等専門学校  | 生産工学専攻        | 2年       | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |
|    |              | 電子工学専攻        | 2年       |                  |
| 13 | 久留米工業高等専門学校  | 機械・電気システム工学専攻 | 2年       | 独立行政法人国立高等専門学校機構 |
|    |              | 物質工学専攻        | 2年       |                  |
| 14 | 神戸市立工業高等専門学校 | 電気電子工学専攻      | 2年       | 神戸市              |

|             |           |          |
|-------------|-----------|----------|
| 教育の実施状況等の審査 | 短期大学専攻科   | 10校 14専攻 |
|             | 高等専門学校専攻科 | 14校 28専攻 |
|             | 合計        | 24校 42専攻 |

## 質保証連携

### 国内外の質保証機関等との連携

#### ○中国 HEEC 設立 10 周年記念行事に出席

去る9月23日（火）に、当機構の覚書締結機関である中国の質保証機関（中国教育部高等教育評価センター（HEEC））の設立 10 周年を記念するシンポジウム（HEEC International Forum）が北京で開催され、主催の HEEC の招待のもと、野上機構長、岡本理事および国際課職員が出席しました。シンポジウムには、登壇者（中国教育部副部長、OECD、UNESCO 等国際的な専門家、アジア・太平洋地域の外部質保証機関等）、日中韓質保証機関協議会（HEEC、当機構、韓国大学教育協議会（KCUE））のメンバーおよび中国国内の大学、大学協会組織、外部評価機関、メディア等、合計 200 名以上の参加がありました。

シンポジウムは、メインテーマ「高等教育における質保証：海外の経験と中国の探求（Quality Assurance in Higher Education: Global Experience and China's Exploration）」の下、中国における高等教育の質保証の歩みについてのビデオ上映、中国教育部副部長による中国高等教育の最近の発展と改革についてのゲスト講演、7 つの基調講演、4 つのテーマ別講演等が行われました。

当機構からは、テーマ別講演において、野上機構長が、「NIAD-UE and the Role of QA Agencies in International Collaboration -Efforts for Multilateral Partnerships-」と題し、日本の高等教育質保証における機構の役割と機構が中国・韓国と共同で行う「キャンパス・アジア」プログラムの質保証プロジェクト（モニタリング）を中心に、機構の国際連携活動について、発表を行いました。

また、当日午後には、当機構と HEEC は、2007 年 9 月に新規締結した、連携協力に関する覚書の期間満了に伴い、同シンポジウム会場にて覚書調印式を挙行し、2019 年 9 月までの覚書の更新を行いました。

#### ・当機構と海外覚書締結機関等とのミーティング

当機構は、今回の北京での HEEC 設立 10 周年記念行事への出席にあわせて、中国・HEEC および韓国・KCUE と日中韓質保証機関協議会のプロジェクトグループ（PG）2（国際的な教育の質保証における連携）にかかる三者会合を行いました。

会合では、2013 年～2014 年にかけて各国それぞれで行った「キャンパス・アジア」の 10 のパイロットプログラムの 1 次モニタリングについて、各国からプレゼンテーションが行われ、手法、プロセス、結果概要等を共有しました。続いて、各国の 1 次モニタリング結果や 2 次モニタリングに向けた今後のステップについて意見交換を行いました。

また、中国における外国学位・資格の評価を行うセンターの機能をもつ、中国留学サービスセンター（中国留学服务中心：CSCSE）への訪問調査を行い、同センターにおける海外資格認定業務や、センターの運営等について聞き取りを行いました。



覚書更新の様子（左：野上機構長、右：HEEC の WU Yan 主任）



野上機構長の発表の様子

ONIA-UE シンポジウム 国際共同教育プログラムの質保証：日中韓の連携による教育の質モニタリングを通して見えてきたことは（11月27日開催）の参加申し込み受付中

当機構の主催で、11月27日（木）に、一橋講堂で開催される「ONIA-UE シンポジウム 国際共同教育プログラムの質保証：日中韓の連携による教育の質モニタリングを通して見えてきたことは」の参加申し込みを受付中です。

本シンポジウムでは、日中韓のトライアングル交流事業「キャンパス・アジア」プログラムにおける質保証の取組みについて、3か国の質保証機関が協力して実施している質保証プロジェクトにより明らかになった優れた事例を紹介します。大学が質の高い国際連携を求めて、いかに課題に取り組み克服してきたのか、経験を共有するとともに、プログラムを経験した学生の視点による意見も踏まえつつ、今後の「キャンパス・アジア」や国際的な共同教育プログラムのあり方について考えていきます。



<ONIA-UE シンポジウム 国際共同教育プログラムの質保証：日中韓の連携による教育の質モニタリングを通して見えてきたことは（概要）>

【日時】平成26年11月27日（木）13：00～18：15

【場所】学術総合センター（一橋講堂）

【プログラム】

- 日本における1次モニタリングの紹介
- 各パイロットプログラムによるポスターセッション
- 各論（各パイロットプログラムや学生による発表）
  - ・ 基準横断的テーマ
  - ・ 中韓との協働による教育
  - ・ 日中韓学生交流に対応した環境づくり
  - ・ モニタリング学生部会
- パネル
  - ・ 質疑応答、ディスカッション

【登壇者】（予定）

- 「キャンパス・アジア」A-I採択プログラム日本側大学
- 「キャンパス・アジア」モニタリング委員 文部科学省
- 「キャンパス・アジア」学生代表者

◎当日のプログラムや申し込み方法など、くわしくは、当機構 WEB サイト「[開催案内ページ](#)」をご覧ください。

## 大学等に関する情報の収集、整理及び提供

### ○平成 26 年度大学ポートレートに関する国公立大学の教育情報の実務担当者協議会

去る9月 18 日（木）に、学術総合センター 2 階の一橋大学一橋講堂において、大学ポートレートへの教育情報の登録作業をお願いする国公立大学・短期大学の実務担当者を対象に、標記協議会を開催しました。

大学ポートレートセンターより、大学ポートレートの概要、入力作業にあたっての留意点等について説明した後、参加者との間で活発な質疑応答が行われました。

10 月以降、各大学に教育情報の入力作業を行っていただき、今年度内の社会一般への公表を目指し、準備を進める予定としています。



協議会の様子

上段：開会挨拶（岡本理事）

下段左：説明（武市大学ポートレートセンター長）、下段右：質疑応答

## 機構の窓

### ○会議の開催状況

- 法科大学院認証評価委員会

第2回 平成26年9月16日（火） 17：00～18：30

議事

- （1）法科大学院評価基準について
- （2）その他

- 大学ポートレート運営会議

第1回 平成26年10月1日（水） 15：00～16：00

議事

- （1）議長の選任等について
- （2）「大学ポートレート運営会議要項（案）」等の決定について
- （3）「大学ポートレート運営会議の会議の公開について（案）」の決定について
- （4）公表画面について
- （5）大学ポートレートウェブサイトのトップ画面の構築について
- （6）大学ポートレート英語名称について
- （7）その他

## 主要行事日程

### ○ Schedule

10月

| 日       | 行事名                    | 担当課   | 関連ページ                 |
|---------|------------------------|-------|-----------------------|
| 1 日     | 大学ポートレート運営会議（第1回）      | 評価企画課 |                       |
| 1 日～7 日 | 平成26年度10月期学位授与郵送申請受付期間 | 学位審査課 | <a href="#">関連ページ</a> |
| 28日     | 国立大学教育研究評価委員会（第39回）    | 評価企画課 | <a href="#">関連ページ</a> |

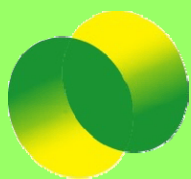
11月

| 日   | 行事名                         | 担当課   | 関連ページ                 |
|-----|-----------------------------|-------|-----------------------|
| 7日  | 学位審査会（平成26年度第3回）            | 学位審査課 | <a href="#">関連ページ</a> |
| 27日 | 「キャンパス・アジア」モニタリング成果発信シンポジウム | 国際課   | <a href="#">関連ページ</a> |

12月

| 日   | 行事名                                                  | 担当課   | 関連ページ |
|-----|------------------------------------------------------|-------|-------|
| 7日  | 大学評価・学位授与機構試験（面接）<br>（東京地区）                          | 学位審査課 |       |
| 14日 | 大学評価・学位授与機構試験（小論文）<br>（札幌地区、東京地区、大阪地区、<br>岡山地区、福岡地区） | 学位審査課 |       |





NIAD-UE

**独立行政法人大学評価・学位授与機構**